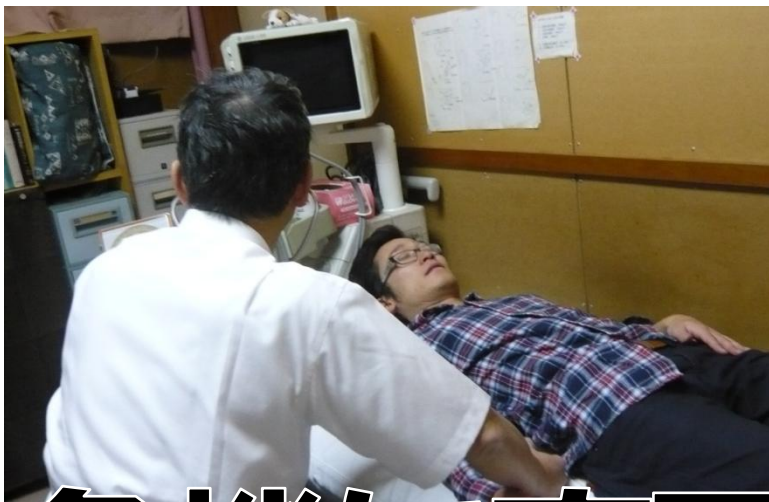


このニュースは政務調査費で作っています。ニュースや市政についてあなたのご意見をお聞かせください。 Tel.354-8257 (議会事務局) 内線 2822



昨年 11 月 29 日から 12 月 25 日まで開かれた市議会 11 月定例会で、日本共産党のかとう清助議員は、「国保の危機」と「コンビニエント施設・設備の安全強化」をテーマに、一般質問を行いました。

# 危機に直面している「国保」制度

市民 4 人に 1 人が加入する四日市市国民健康保険。現在のサラリーマンも、現役を退けば誰もが加入する国保が、危機に直面しています。

かつて自営業者や農林漁業者を対象として発足した国保は、現在は無職の高齢者や非正規労働者などの低所得者が大半を占める医療保険へと大きく変貌。医療を必要とする高齢者が多い

保険料「協会けんぽ」の  
**2.4 倍**  
滞納世帯  
**34.9%**  
保険証取上げ  
**1004 世帯**

ことから保険料が高騰し、加入者の負担の限界を超えています。このため、滞納世帯が異常に多く、保険証取り上げ世帯は千世帯にのぼっています。「国民皆保険」制度に穴があいているのです。この構造的問題と危機解決の責任は国にあります。国保を運営している市も、出来る限りの努力をしているのか。かとう議員は、このことを取上げました。

かとう議員はまず、国保を運営している市の基本姿勢についてたずねました。

国保法は第 1 条で国保は社会保障制度であることを明らかにしていますが、市が発行している「国保のしおり」では、そうした説明がな

く、加入者相互の「助け合い制度」と、誤った説明をしています。その改正を求めました。

市「しおり」の改正は、発行元・関係のところが検討します。国保会計は、一般会計から切り離され、特別会計として運営されていますが、その国保会計の剰余金も、ここ 3 年間で基金(貯金)として急激に積み上がっています

かとう議員は、何の目的があつて巨額の積み立てをしているのかたずねました。

市「不測の事態に備え積み立てを行っています。試算を行って積み立てている訳ではありません」全国の自治体はどこでも、加入者の負担の限界を超えている保険料を、少しでも引き下げようと、一般会計から国保会計に繰り入れ(補助)を行っています。

四日市市もこれまで、全国の特例市 43 市の平均額を繰り入れしていましたが、平成 23 年度から激減させました

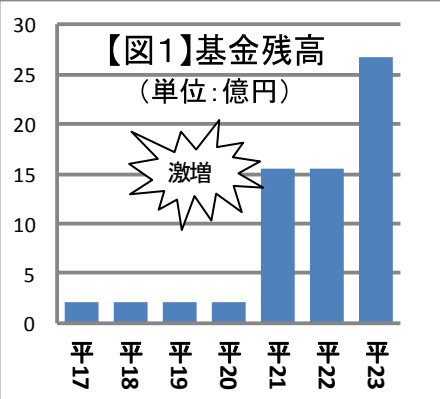
昨年の総選挙により、自公政権が復活しました。自民党は日本維新の会など、憲法 9 条(戦争放棄)の改正を公約しており、再び「戦争をする国」への動きが現実のものとなる可能性が高まっています。

アジアの人々と日本国民を塗炭の苦しみに陥れたあの侵略戦争に、命をかけて反対した歴史をもつ私たち日本共産党は、皆でまことともに、全力を挙げてこれを阻止する決意です。

国民・市民の苦しみ・悩みの軽減を立憲の精神にしている私たちを引き続き応援していただきますよう、また、共に手をたずさえていきたいと思います。心よりお願い申し上げます。

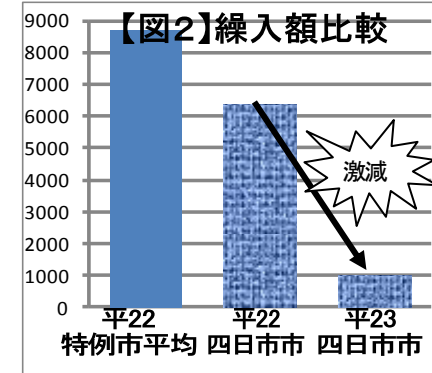


市議会議員 山本りか  
市議会議長 かとう清助



【図1】。と急激に積み上がっています

かとう議員は、これについて政策を転換したのか? また、2 年前の議会では、繰り入れについてのルール作りをすると答弁したが、出来ているのかとたずねました。市「今後の繰り入れは、国保会計全般を勘案しながら対応していきたい。具体的なルール作りには



※加入者 1 人当りの年間繰入額 (単位: 円)

基金を還元し全国並みの繰入をすれば、保険料を 1 人あたり 1 万円下げることができる

かとう議員は、(裏面へ続く)



かとう清助市議

## 四日市市国保データ

- ★加入者数 7 万 4188 人 (市民約 4 人に 1 人)
- ★加入者の所得
  - 0~100 万円未満 52%
  - 100 万円~200 万円未満 22%
- ★保険料 「協会けんぽ」の 2.4 倍 (所得 200 万円、夫婦と未成年の子供 2 人の場合=年額約 40 万円。「協会けんぽ」は約 16.5 万円)
- ★滞納世帯 1 万 4924 世帯 ※1 回分以上の滞納世帯 (加入世帯の 34.9%)
- ★保険証が取り上げられている世帯 1004 世帯